

第7回 江府町義務教育学校設置準備委員会【議事録】

■期日：令和2年11月30日（月）

■時間：19:30～21:00

■場所：防災・情報センター 2階 研修室

<会議出席者>

【委員】手島委員長、谷田副委員長、井上委員、中田委員、河上委員、宮本委員、川上委員、稲田委員、山川委員、北村委員、梅林委員、瀬尾委員、竹内委員

【事務局】富田教育長、加藤課長、景山学事担当課長、岡田主事

1 開会

委員長挨拶

日中、お勤めでお疲れのところご苦労さまです。第3波が来ている中で、保育園、小学校、中学校の先生方、皆さん方の職場、大変な気を遣いながらいろんな行事をこなしておられる。保育園では外国の方が来られて英語教室を一生懸命やっておられたり、小学校は修学旅行に行かれたのではないかと。中学校では、中学生の議会、いろんなパフォーマンスをやりながらこなしておられて大変だと思っている。我々もひとりひとり気をつけながら、コロナに感染しないように元気を出していこうと思う。今日は、校章の選定と校歌という2つの議題がある。できるならば今日中に決めてしまって、次から何をするかということをしていろいろ考えたり、教育委員会からまた提案していただいたりというようなことになればよいと思っている。校章もたくさん素敵な校章が送られてきているので、投票か手を挙げてもらうかして今日中に決めていきたいと思う。ある意味、セミプロの方に快く変更をしていただいた。校歌については、先般いろいろ話し合った中で、大半の皆さんのご意見が現在の江府中学校の校歌を残す方向で、歌詞をどういうふうにし替えていいだろうかという案を提案いただいているので、それを協議しながら決めていきたいと思う。草野心平さんは文化勲章も受賞された文学者であるので、（歌詞を）あれこれ変えるわけにはいかない。（歌詞変更の）許可を得るにしても、元のものがバラバラになってしまうようなことでは、お願いもできない、そうすべきではないと考えている。最小限変えて、とにかく江府中の校歌を残すんだと。そのためには、ちょっと変えさせてくださいという方向で作者の遺族の方にはお願いしなくてはいけないと思っている。忌憚のないご意見を聞きながら、今日この議題についていろいろお話いただければありがたい。どうかよろしくお願い致します。

2 報告

○保護者・学校の取組状況（小中校長）

副委員長 保護者、学校及び教育委員会の取組についてということで、小中学校の校長先生の方から報告をお願いしたい。

- 瀬尾委員 制服検討委員会について報告する。制服検討委員会をこれまで2回実施した。1回目で会長・副会長が決まった。澤田会長さん、竹田副会長さん、水田副会長さん、川上副会長さん。4人の役員が決まり、アンケートをとろうということになり、今現在でわかる範囲でアンケートをとって、みなさんはどう思っておられるのかというのを基にして、2回目にその話合いをした。江府学園に期待する思いや願いを話したりしてみんなでアイデアを出し合う良い会になった。その後で、制服は何年生からがいいのか、制服は必要かという話をした。制服は必要だという結論と、今のところ6年生からがいいのではないかという意見が多く出ている。次回には決定し、どんな制服にするかということ、これから話していこうということになっている。
- 竹内委員 PTA 組織について報告する。町 P 連役員研修会は、小学校中学校 PTA の会長、副会長、それに校長と教頭が入る研修会にしているが、そこに保育園保護者会の代表の方も入っていただいて、新しい PTA 組織について話をしている。11月24日に役員研修会をしたが、その時に会長など役員の決め方について、皆さんの了解を得た。会費やバザー、地区委員についてなどは、次回話をしようということになった。会長さんと、両校の教頭先生と代表の加藤さんと入って、少人数のメンバーでたたき台を作って、町 P 連の役員研修会にもう一回諮ることになっている。その代表者が12月15日に行われるので、年内か、年初めくらいに次回の町 P 連の役員研修会をする予定。
- 副委員長 ありがとうございます。制服のこと、PTA の組織についての報告をいただいたが、何かご質問などあるか。よろしいか。着々とこちらの方も進んでいるようだ。引き続きよろしくお願いします。

3 協議

(1) 校章選定

- 副委員長 校章の選定について、事務局の方から説明をお願いしたい。
- 事務局 前回、校章については、このマーク（※最優秀作品のこと）ということに基づきながら、文字が背景色に隠れてしまうという点、それから「奥大山」という文言の修正を含め、補作という話があった。それを受けて、作られた方に依頼をしたところ、全部で20作品作ってくださっている。前回の話では、校名を入れること、校名はローマ字という話もあったのでローマ字のものもあるが、作者の方が漢字ならこのようなアイデアがあるという案も送ってくださった。それらを全て示した。資料に前回協議いただいた（最優秀作品の）原案をつけているが、これを基にすると周りは青色なので、基本的には1ページの案になると思う。作者の方が、周りを緑にしてはどうかということ、2ページ目の10作品も同時に送ってくださった。全部で20作品の中から

検討していただくということになる。前回、文字が背景に沈んでしまうということについては、黄色に色を変えていただいているし、ローマ字の作品についても何点か作っていただいているので、この中から決めていただくようお願いしたい。作品数が多いので、なかなか1つに決めきれない場合もあるかと思うので、最初に2作品ずつ決めていただき、(得票数の)多かった作品3つの中からお協議、もしくは最終的には多数決になるかもしれないが、決めていただくという形で進めていきたいと思っている。

副委員長 まずこの20作品の中から2作品を選んでいただき、上位3作品について協議の上決定するというのでいきたいと思うが、決め方についてはこれでもいいか(特に意見なし)。では、よろしくお願いします。

(事務局、用紙配布)

事務局 2作品なので、紙には2つの番号を書いていただくようお願いしたい。

----- 選考作業 -----

事務局 では、投票の多かったものから3作品だが、3位が3票が2つあるので、4つの作品番号を読み上げる。

選考結果

作品番号	1	4	7	10
------	---	---	---	----

副委員長 4作品が選ばれたが、この中から1つにしないといけない。

委員 質問だが、例えば、7番は「江府学園」の文字が白抜きになっている。その白抜きの部分を例えば青で、インパクトを強くするかそういうことはもうできないか。決めたらもうこれになるのか。一番最初のものを見たら、結構「KOFU」の部分が沈んでしまうから、青ではなくて虹色に変えてある。文字はブルーを使うとか。そういうのは考えずに、中がブルーで外が白抜きとかもある。白抜きだったり、そのまま青だったり。白抜きになっているのがインパクトは弱いなと思ったら、変えられるのか、もう変えられないのか。

事務局 作者の方にはお願いはできると思うが、色としては紺とか赤とか色の指定をしていただくことが必要になると思う。そうでないと、またいろいろと出てきて、またその中で選んでいく形になると思うので。

委員 どれかが決まったらその一部を変えるということは可能か。

事務局 お願いをすればして下さると思う。前回お願いしたのでもこれだけの作品を送ってくださっているのです。

副委員長 文字の色をこういうふうに変えた上で、これを推したいとかいうような意見

- もあっていいと思うので、この4作品の中から1つ絞っていくためのご意見
お願いしたいと思う。いかがか。委員は7番がいいというようなのがるか。
- 委員 最初が一番初めのデザインの「KOFU」という文字は、ブルーで書かれてインパクトがばちとくる。白抜きではなくて中を塗ったほうがいいなと思ったので。
- 副委員長 前回のこの委員会でローマ字がいいという意見もあった。ただ、今選ばれたものの中でいくと、漢字のものが4つ中3つということになる。そのあたりはもうローマ字に縛られなくていいということで。あらためてデザインした方に提案してもらったもので、どれがふさわしいかという視点で、選んでいただきたいと思うが、どうか。皆さんのこの総意が話し合いでまとまらなければ、最終的には決選投票みたいなことにしないといけないと思っているが、ご意見いただけるか。7番も色を付けて「江府学園」というのがインパクトがあるようになるという仮定で考えてもらってもいいと思う。
- 委員 自分が選んだのは（周りの色が）緑の方だった。そこで、色違いの青の10番がいいと思った。理由としてはデザインのところの上に文字が集中してしまうなと感じてしまって、バランス的に上と下のところであって真ん中に絵がどんとくるかなと思って10番がいいのかなと思っている。
- 副委員長 はい、ありがとうございます。字のバランスなどから考えてもということ。いかがか。
- 委員 自分は4番と10番に入れたが、学校の名前は「奥大山江府学園」なので、「奥大山」と「江府」というのが分かれてないほうが、「奥大山江府学園」という学校の名前にしっくりくると思った。ローマ字で「OKUDAISEN」・「江府学園」は漢字、というデザインは違うかなと。個人的にそう思ったので4番、10番に入れた。ただ、ローマ字の表記があってグローバルにという考え方も今風だと思うので、「OKUDAISEN」だとか、そういう読めるようなものもあってもいいのかなと思った。
- 副委員長 なるほど。4番、10番のあたりということ。その他いかがか。
- 委員 自分は、7と10を選んだが、10は前回の時に下の方がさびしいなと気になっていたもので、そこを埋めてもらっているのかなと。両方とも個人的にはデザインとしてはまとまっているのかなと思う。「江府学園」では、真ん中にインパクトがあるのはいいのかなと思ってその2つを選んだが、特にまだ決まっていない。
- 副委員長 わかった。たくさんの人が見られていいなと思うものもいいわけなので、感覚的なものもあると思う。バランスだとか、色合いはある程度これでいくが、少々変えてもらうこともできるのかなということもあった。自分だったらというところで結構なので、ご意見をいただいと皆さんの判断材料にな

と思うが。今挙がってきたのは漢字、ローマ字、漢字・ローマ字の両方あってもよいのではないかという意見もあった。真ん中に「江府学園」とくるのもいいのではないかと。上下に文字があってバランスがいいのではないかと意見があるが、他にはいかがか。

委員 自分が選んだのは残念ながら選ばれなかった8番と4番。自分は前回も言ったが、やっぱりグローバルに対応するようにローマ字がいいかなと思ったが、1番、4番、7番を見ると、1番はちょっと上に寄りすぎて逆に見にくいかなと思うし、あと「OKUDAISEN」だけローマ字というのがなんとなく。学校の名前が「奥大山江府学園」でひとつなのに分かれているのはやっぱりわかりづらいと思うので、この、1、4、7、10で言うと1番が4番のデザインで、ローマ字表記でというと1番かなと思う。

副委員長 なるほど。いろんな視点がある。

委員 自分も4番、10番を選ばせてもらったが、最初に何点かの中で校章を決める時にローマ字があるとかっこいいなと思っていたが、それはそのデザインだからかっこよかったのかなと今これを見ながら思っている。4番は、学校名がガツンとわかるので、(校名が漢字であっても)これはこれでありのかなという思いもある。10番はすっきりしているが、すっきりしすぎている気もするので、見れば見るほどどんどんわからなくなってくる。ローマ字にこだわらなくてもいいのかなという思いはある。

副委員長 はい。いかがか。

委員 自分は皆さんとは違うものを選んでみた。経験があるかどうかかわからないが、「江府」という漢字を素直に「こうふ」と読んでくれる人が県外の人とかは少ない。なので、ローマ字で「KOFU」と入れておいた方がいいのではないかなという気はする。

副委員長 なるほど。その意味でいくと1番か。

委員 自分は1番と18番を選んだ。ローマ字の方がいいかなと思っていたが、改めて見ると、なんか1番はさびしいなと。10番の方がバランス的にはいいかなと思って、自分は10がいいかなと思う。

副委員長 バランスの良さとかいうこと。

委員 自分は7と10を選ばせてもらったが、言われているように10番のバランスがいいかなと思ったし、委員の言われた7番の「江府学園」が青い字だったらそちらの方がいいかなという感じ。

副委員長 わかった。

委員 自分も7と10で迷うが、7と10で比べたら「OKUDAISEN」の文字の大きさもちょっと違っているし、インパクトがある方がいいなと。さっき委員が言われたが、「OKUDAISEN」がローマ字で、「江府学園」が漢字というの

はちょっとどうかなという意見があるなら、やっぱり10番は「奥大山江府学園」というのがバンときていて、「OKUDAISEN」という文字も残っていると。10番かなと思うが、大山が濃い色がいいなと思ったり。組み合わせが微妙に色のところがちょっと気になるが、でもやっぱり文字の配列とか、ローマ字と組み合わせで10番が一番表現しているのかなと思って、10番がいいなと思った。

副委員長

ありがとうございます。

委員

自分は、4番と9番を選んだ。「奥大山江府学園」というのは、誰が言われたようにローマ字と漢字が別々にあるというのは、やっぱりちょっとしっくりこない。「奥大山江府学園」としっかり漢字で書く。それと、9番がいいなと思ったのはローマ字で「KOFU」と。委員さんが言われた、読めない人もいかもしれないと言われたので、「OKUDAISEN」よりも「KOFU」と入れたほうが、江府町の「KOFU」だからいいかなと思っていたが、最初の選に漏れたので、これで言うならば私も10番かなと思う。

副委員長

はい、わかった。

委員

自分も9番10番になったが、皆さんおっしゃったように10番がすっきりしていいかなと思ったりもする。

副委員長

委員長さん。

委員長

自分は、1番と6番を選んだが、6番は通らず、1番がすっきりしていいのかな。7番も皆さん方から説明があったが、「江府学園」がちょっと目立たなくて抜けておるような感じがする。もうちょっと濃い色で塗りつぶした色でもいいのではないかなという感じがする。1がダメなら、7番という意見。

副委員長

自分も10番かなと思う。ただ「KOFU」という言葉もという思いもあって、8番が「OKUDAISEN KOFU」とローマ字で上に書いてあって、下に10番の「奥大山江府学園」というので、合わせたら欲張りかなというような。別のデザインになってしまうなというのはあるが、そういうふうに「KOFU」が入ってもいいのかなというふうに思いつつ、自分としては10番がいいかなと思っている。

それぞれ思いを言ってもらったが、考えれば考えるほどわからなくなるというくらいどれを選んでも良いものにはなっていると思う。色とかのことは相談ができるという前提で、どのデザインにするかということ、デザインとしてどれにするかということで、投票させていただくことでよろしいか（うなずき）。良いか。では。

事務局

今の1、4、7、10から1作品ということ。

----- 選考作業 -----

選考結果

作品番号	1	4	7	10
得票数	2	0	0	11

- 副委員長 基本的なデザインに関して、10番で決定ということによろしいか（異議なし）。はい、決定させていただいた。今、補作がと言われたが、10番ということになったときに、先ほど言ったように色合い的なことだとか、ここはこうした方がいいのではないかという意見があれば出しておいてもらって、それをまたお願いするような形かなと思うがいかがか。
- 事務局 （※投票用紙への記入内容から）「OKUDAISEN」と大山のデザインを濃いブルーで示した方がインパクトがあるのではないかという意見が出ている。
- 副委員長 どうか。「OKUDAISEN」という文字と、大山の形を濃いブルー。周りの色と同じような色ということか。
- 委員 最初のデザインは統一感があってすっきりして爽やかなブルーで統一してある。山と枠と「KOFU」という文字がブルーなのですっきり感がある。あとは葉っぱと虹。統一感のあるブルーのカラーで示しておいて、虹とか葉っぱはカラフルになっているというのがいいかなと。あんまりいろんな色が混ざっているのは惜しいなど。
- 副委員長 委員さんが言われるのは、色としては1番のような色ということ。山も周りも文字もこの色をとということか。
- 委員 その方が統一感があっていいかなと。
- 委員 アヤメというようなイメージで。
- 副委員長 アヤメというイメージはそうだった。アヤメの色というようなイメージも前回選んだ理由にあったし、この色で「OKUDAISEN」という文字と大山のこの形は色を統一するという意見が出ているがどうか。頷いている方が多いがよろしいか。そのように要望するというのでいかせていただきたい。その他はいかがか。もう何度もお願いするのは厳しいと思うのでここで意見を出していただきたい。
- 委員 「KOFU」を入れるのはまずいのか。
- 副委員長 10番に「KOFU」。1番の「KOFU」が入るような感じ。「KOFU」入れたいなという思いがある。
- 委員 そうすると、そもそもこれを選んだ意味がなくなってしまう。
- 副委員長 1番の下に「奥大山（江府学園）」を入れる感じ。
- 委員 1番の下か8番の下に「（奥大山）江府学園」。
- 副委員長 1番も意見があった。票を入れられた方もいらっしゃるの。今言われた

- 「KOFU」という言葉が入るのはどうかということについてはいかがか。
- 委員 8番と10番を足したような。「OKUDAISEN KOFU」さらにその下に「奥大山江府学園」がつく。
- 副委員長 いかがか。
- 委員 両方についてしまうと、皆さん言われていたのは、10番はすっきりしていると言われていたと思うが、それがどうなるのかという感じはある。
- 副委員長 今度はしつこくなるか。
- 委員 文字数は増える。
- 委員 虹の上の「OKUDAISEN」の上に「KOFU」はつけられないか。「OKUDAISEN」はローマ字で虹の上に乗っている。その後ろに「KOFU」。文字の間が狭くなるか。
- 副委員長 小さくなるか。どうか。
- 委員 「KOFU」はやっぱ大事。8番の「KOFU」は大きい。8番と1番の「KOFU」は大きいというのは意味があるのかなと。できるなら「KOFU」をバチっとセンターに置くのもいいと思うが。すっきりさせるのがいいのか、「KOFU」が外せないというのか、どうかなと思うが。
- 委員 だったら9番はどうか。ちょうど「KOFU」だなあと。
- 副委員長 振り出しに戻った感があるが。
- 委員 「OKUDAISEN」を入れるか「KOFU」を入れるか。「KOFU」だけを入れるという選択肢も。
- 副委員長 「OKUDAISEN」なのか「KOFU」なのかについては、どれが正しいもないと思う。再度意見が出て考え直すのも必要かもしれないが。挙手を求めてもよいか。「KOFU」か「OKUDAISEN」かでいうと、どちらを入れたほうがいいのか。9番か10番かというイメージになると思うが。9番は選ばれなかったというのはあるが、再度こういう意見を元にして考えると9番のように「KOFU」という言葉が入った方がよいのではないかとということも出てきたので、挙手をしてもらってもよいか。10番の「OKUDAISEN」がいいのではというご意見はいかがか。挙手はいかがか。
- 委員 NO.8は両方入っている。
- 副委員長 NO.8に下に「奥大山江府学園」が入るという形。
- 委員 うるさすぎるか。さすがにちょっと両方はいけないなという感じか。
- 副委員長 私はそれでいいと思うが。
- 委員 さきほど「OKUDAISEN」でもない「KOFU」でもない「奥大山江府学園」なんだという、それは確かに正しいなと思う。日本語で書くのはもちろんいいと思うが、ローマ字があるということで、世界にも通用するというそこは良いメッセージかなと。両方入れるというのはどうか。委員さんのすっきりし

た方がいいという意見もあるが。

副委員長 どうか。今、9番か10番か、あと8と10の、8番のように入れるかという3つでまた皆さんが迷っているというところ。私も含めて迷っているというところだが、これも挙手を求めてよいか。「OKUDAISEN」か「KOFU」か「OKUDAISEN KOFU」か。この3択でいくとするといかがか。「OKUDAISEN」でいいのではないと言われる方がいいかがか。では「KOFU」はいかがか。1名。「OKUDAISEN KOFU」でいいのではないかという方（「OKUDAISEN KOFU」が多数）。もし「OKUDAISEN KOFU」ということでいくなら、それをお願いして一回作ってもらう形になる。

事務局 今の意見を元にする、8番の下に「奥大山江府学園」という文言が入ることと、「KOFU」はもう紺色なので「OKUDAISEN」の色も紺色で、「奥大山江府学園」という漢字も紺色ということで、デザインを作ってもらうということになる。それが皆さんの総意であれば、それをお願いすることはできると思う。

副委員長 いかがか。再々作ってもらってやっぱり変えますというわけにはいかないと思う。いろいろ検討していった結果、皆さんの思いとしてはこれで一番いいのではないかというところで落ち着いたところだと思うので、それでいかせていただいてもよろしいか。また次回の委員会の時にその形が見せてもらえるようだったらということ。では、校章については、8番と10番の合わさったような形、そして文字や山の色は紺色ということで決定とさせていただきます。

(2) 校歌について

副委員長 校歌についてだが、事務局からお願いしたい。

事務局 4ページをご覧いただきたい。前回、江府中学校の校歌を残す方向でどういう文言にすればうまく収まるかということ、を次回検討するという話だったと思う。皆さんから出していただいた意見を案として6つ、事務局として考えた案も含めて挙げている。これらの文言がうまくはまるかどうかということ、をこの後ご協議いただければと思う。ここには書いていないが、校歌に関しては町長も非常に関心が高く、この会の会議録も読んだ上で、思いがあるということだったので、町長と少し話をした。町長としては、江府中学校の校歌は残したいという思いがあり、残すのであれば今の曲をそのまま、要するに歌詞を変えないで残すという考え。これは、あくまでも個人の意見というふうにおっしゃっていたが、江府中の校歌を残すという考えがあるということは今日町長と協議をして確認している。この準備委員会では、江府中学校の校歌を残す方向で文言の修正をして収まるかどうかを検討するという流れ

だったと思うので、先ほどの町長の考えも含めてこの後協議いただければと思っています。

副委員長 今、案を6つもらっているが。

委員 ちょっとよいか。

委員 前回協議させていただいたところで、そういった方向で話をさせていただいたところもあったが、江府中学校の校歌がとても大好きだという方から、好きだからこそ江府中学校の校歌は校歌として残してもらいたい。江府学園に移すのではなく、できるなら、校舎歌というか江府中学校の校歌そのまま残してもらいたいというお話があった。前回のお話、協議させていただいたところでは文言を変えたところで進めていけたらなと思っていたが、そういった、好きだからこそ残してほしい、そのままにしてほしいというご意見をいただいたので確かにそうだなと思った部分があったので。前回話があったところから戻ってしまいかねないという部分ではあるが、そういった声があったというところを踏まえて、考えてもらえたらと思っている。

副委員長 今日のこの協議に関しては、議事録にあるように江府中学校の校歌を残す方向で検討しよう。それで最小限歌詞を変えて、もしくは変えないでという意見もあったが、最小限変えて校歌としていけるかどうかを検討することだったと思う。それで（今の話は）江府中学校の校歌にするかしないかの是非の話（だと思う）。そのまま校舎歌として残したうえで別のものというご意見だと思うが。

委員 そうだ。

副委員長 これについては前回、江府中学校の校歌で検討していこうという話であったので、今日のところは、その話をしたいというところはある。ただ、前回の話の後にそういった声も聞かれて、そういう意見があるのなら検討しなくてはということで意見を出していただいていると思う。これについては皆さんにも意見を聞いてみたいとは思いますがいかがか。基本的には江府中学校の校歌が校歌としていけるかどうかの是非は検討したあとかなと思っていたが。どうか。委員。

委員 （帰属団体に）報告してこの件で意見をいただいたので、委員に補足して発言させていただきたいと思う。副委員長が言われたように、たぶんこの6案を一度検討してみてどうかというので方向は最終的に決まると思っているので、そこはやればよいと思う。意見としてあったのは、再度の確認だが、そもそも編曲するのは趣旨に合わないので歌詞だけ変えましょうというのは、最終的には遺族の方に確認をとってやるということではよかったか。

事務局 そういう方向で。

委員 そこは、作詞作曲の方には敬意をはらってということ。もうひとつ意見があ

ったのが、専門的な方がどれだけ関与してこれに対応されているのか、専門的な人が入って検討しなくて変えてしまうことが本当にいいのか。専門的な方の意見はどうだろうという意見があった。最初に別途（検討委員会的な組織を）作ってやったらどうかという話があって、それはなくなったが、これを検討される段階でどのような立場の方、音楽に精通されているとかそのあたりの方の意見がどれくらい入ってこの提案になっているかというのも確認させていただければと思う。

委員長

委員が話されたことについてだが、気持ちはみんな残したいという気持ちでいるわけだが、このまま歌詞を変えないで校舎歌として残すということになると、学園歌はどうなるかという新たに作らなければいけないということになる。新たにつくるということになると、時間もかかるし、また同等の人を探すことから始めた大変なことになる。費用の面でも時間的な面でも。間に合わない。ちょっと無理ではないかと思う。校舎歌ではなくて学園歌を新たに作るということは。そうした場合、（江府中の校歌を）残したいのであれば、やっぱり子どもたちが歌い継いで、これからずっと何年も何年も歌い継いでいかないと残らない。校舎歌を歌え、次は学園歌を歌え、では混乱する。ほんの一部でも（歌詞を）変えることは、もちろん草野心平さんの遺族の方に了解を得ないと勝手に文学作品を変えることはできない。草野心平さんは、ご存じのように文化勲章を受けてどこかに資料館を県で建てているところがあるが、そういう方なので、了承を得るためには、残したいのでここだけは変えさせてくださいというお願いをしないと。ずるずる文学作品を変えるということではできない。お願いももちろんできないし、そういうふうにするべきではないと思っている。小山清茂さんもこの方も一流の方で、小中学校の教科書にも出てこられる方だが、曲は変わらないわけで、この場合は、了解はもちろん得なくてはいけないと思うが、詞の方は必要最小限。とにかくこの歌が残したいというのがみんなの気持ちであるし、ここでなくしてしまいたくないんだと。そのためにほんのここだけを変えて、名前だけを変えさせてくださいというお願いしかできないのではないかと思う。だから、手紙一本とか電話一本ではなくて、教育長自ら出かけて行って、遺族の方に敬意を表しながら今まで歌わせてもらったことを感謝しながら、お願いすることになるろうかと思う。そういう形でないと残すことができないと思う。

副委員長

よろしいか。私の方からも説明させていただきたい。事前に事務局や委員長、とも、この件について今言われたようなご意見が出るだろうということも思っていた。委員長から説明してもらった通りだが、歌詞については、作品としてあるものの変更をお願いするわけなので、本当に最小限のものしか変えられない。我々専門家でもない者が、我々の言葉で変えていいのかという思

いも正直私もあるので、どこかのそういう著名な方だとか権威のある方々に相談した上で、仮に、歌詞が「奥大山江府」となったとしたらどうですかねという相談を入れる必要があるのかどうかということも検討した。先ほど言ったように最小限、我々が考えうる最小限のものを変えたとすれば、専門家の力を借りなくてもいいだろうということ考えた。そこでまたご意見いただいて、もっとこの方が文学的になるよというご意見いただいても、もうそれは草野心平さんの作品ではなくなってしまう。あくまでも手は入れるが草野心平さんの作品を壊さない。そういうところからすると、我々で検討して最良のものを見つける形の方がいいだろうということで考えた。これで変えたいということになれば、きちんとした形で依頼をするということも考えているというところ。校舎歌にするということも考えてみたが、実際に自分は教員をしているが、校歌を歌うこと自体が年に何回かというようなこと。それで校舎が分かれていて、新しい学園の校歌を歌わずに校舎歌を歌う場面というのはまずないだろうと思う。わざわざ儀式の中に校歌を歌って校舎歌を歌って2回歌うのかとそれは現実的ではないと思う。そうすると残すといいつつ、もう忘れられた歌になってしまうのではないか。江府中学校の校歌を残したいという声が圧倒的に多いのも皆さんご存じの通りだと思う。もちろん江府中のままでいきたいという思いはある、町長さんもそうおっしゃっていたので、そういう思いが強いのもあるが、本当にこの歌というものを大事に残していくということを考えるならば、江府学園の校歌として残すという形が最良なのではないかと考えている。いかがか。委員。

委員 このままでいく方法として、提案だが、「ああ 江府中」のところを「ああ江府じゅう」にしたら、このままでいけるのでは。

副委員長 「じゅう」というのは。江府全体みたいな意味か。

委員 そうだ。こじつけっばいか。

副委員長 ちょっとしゃれっばい。

委員 しゃれっばいか。

委員 そもそも校歌とは、新しい学校ができて、学校のイメージをのせた歌。それが「江府中」のままというのは、それはいくらなんでもそのまま使うなら絶対に反対する。それだったら絶対にダメだと思う。江府学園という名前に変えて、きちんとそれがのっている歌でないと、江府中のままというのはちょっと。新しい学校ができるのに。皆さんが江府中学校の校歌を残したいということが強いなら、それをなんとか変えていくということしかない、選択肢として。このまま残すだったら新しい学校の歌を作る方がいいと思う。残すか、このまま残したいなら校舎歌しかないと思うし、変えてでも残すということだったら。本当は新しく作ってもいいくらいだが、残したいっていう気

持ちが強いということであれば、そこを変えて、歌っていくということになると思う。

副委員長 いかがか。みんなが愛していない校歌があって、新たに作るのが大変だから、お金も時間もかかるから、大変だからやめようということではない。みんなが大事に残しておきたいという意見があってこの江府中学校の歌をベースに残そうという意見だと思うので、なにも怠けてこれにしようということではないということも確認できていると思う。今日の趣旨としては、この江府中の校歌を最小限変えるということで我々として（案を）考えてみて、それを広くみんなで見たとときにおかしくないということになればいいのかなと思う。周囲からまたこれは変だということになればまた直さなくてはいけない部分もあるかもしれないが、とりあえず今日検討させてもらって、残り25分ほどだが、できれば候補としてはこれだなというようなものを見つけられたらと思う。その作業に入ってもよいか。では、どんなふうにさせてもらうか。それと、6つの案があるが、今日新たにこういう案をもってきたということがあれば出してもらってもいいと聞いている。

事務局 事前にお聞きした案は全て書いているつもりでいるが、もしかしたら抜けているかもしれない。もしあれば。（意見なし）

副委員長 では、この案をやってみるということ。

委員 自分も今日この会があると思って、頭の中で考えてきたが、考えた内容が頭の中で歌った感じがすごい並びが悪いというか。今の歌に慣れ親しんでいるので、違和感があるのかもしれないが、後の歌詞につながらなかったりとか。専門の人には（相談せず）と言われたが、自分はこの校歌が大切だからこそ専門家の人にアドバイスを聞かれた方がいいのではないかという思いがある。こういう感じが頭の中では浮かんでいたが、なんかしっくりこないという思いがあって。

副委員長 想定される専門の方とはどんな方か。

委員 こういう編曲というときに、校歌の編曲のときにはだいたいどういう方がされるのか。有識者とかそういう方で作られたりするのか。編曲される方とかそういう方がおられないのかなど。

副委員長 そもそもこの作品を最小限しかいじらないということで考えていくと、また名のある方が入ってきて、そこの部分だけだれだれさんのですよということが本当にありなのかどうかということがあると思う。

委員 編曲はしないですね。

副委員長 編曲はしない。

委員 編曲をしてしまうとそこはそもそも。とりあえず1から6誰か歌ってもらって（考えてはどうか）。

副委員長 合わなかったらダメだが、合うかどうかをやったうえで、ダメなら考えなくてはいけないと思う。

委員 編曲まではできないのであれば、できる範囲でだれか歌ってみて。

副委員長 たぶん、誰だったら満足というのではないと思う。どこどこ大学の先生だったらありだとかいうことはないと思う。我々の中、言わば素人の我々が考えたものでいいのかみたいな感覚はあるが、まずどんなものがふさわしいのかということを検討することはできると思う。それで我々としてこれではできないかというものが見つかって広く皆さんに聞いたとき、それは変だろうとか誰が考えたのかというようなもの、人の名前で判断するのかということもある。なので、聞いた時にこれだったらいけるのではないかというものが見つけれられるかどうか、今日それをやるので、まずは専門家ありきみたいなことではなく、我々の責任の中で案を出していくのはどうか。

委員 最終的に、作詞作曲の名前は変えないのか。

副委員長 変えない。

委員 言われたように名のある人がいじって、作詞作曲だれだれで編曲とか作詞とあってならないよう、少しだけ。草野さんの名前を小山さんの名前を残しましょうということ。少しだけ変える方がわかりいいような気がする。名前を変えないなら。

委員 リズムが少し変わってもいいのか。例えば「ああ 江府中」となるところが、「(ああ) 江府学園」とかちょっとリズムが変わってしまうが、そんなでもいいのか。それともそれは変えずに、「タラ、タタタタ」(「ああ 江府中」の部分のリズム) のところを変えないということか。

副委員長 まず、この案を聞いてみないか。変えないで考えておられるか。

事務局 変えないというか、文字のおさまり具合のリズムは正直文言でしかいたっていないので、こんな感じで歌うのかなと思っているが、それは今の「(ああ) 江府中」には、リズムが少しずれているかもしれない。

委員 言葉が増えればそうなる。1つの音に2つ入れるか。

委員 そのためには変えるしかなかったりする。リズムを絶対変えないということにこだわっていたらハマらない気がする。

事務局 「タタタタタ (江府中のリズム)」というのだけでは入りきらないというのはある。

委員 可能性はある。

副委員長 そこはまた作曲の方にきちんと承諾を得るということもわかっているので、どうしてもそれでないといけないということになれば、また相談させてもらうので、どうか。あまりにもそれは作品として変わったぞというようなことにならなければいいような気もするが。前段のどうなのというところで時間

を使っているが、せっかく案があってこれについて検討しようという会なので、まずこの6つの案でダメなら考えるのかどうかということも考えなくてはいけない。この6つの案、検討まだできていないので、まずはこれを検討してみるといのはどうか。

委員長 聞いてみてもらった方がいいと思う。音符は変えない、もちろん。拍も変えない。言葉をあてはめると、その拍に、ということで考えていけばいいと思う。

副委員長 音楽が鳴るようになっているか。

事務局 CD で（曲が）流れる。（案を）考えられたリズムと違うかもしれないが、これだったらまるのかなという（歌い方をしてみる）。

※案①～⑥を歌唱

案①：「ああ江府中」 → 「ああ江府町」

案②：「ああ江府中」 → 「奥大山江府」

案③：「ああ江府中 われらが母校」 → 「われらの学び舎 江府学園」

案④：「ああ江府中」 → 「ああ江府学園」

案⑤：「ああ江府中」 → 「江府学園」

案⑥：「ああ江府中」 → 「ああ学園」

事務局 違っているかもしれない。とりあえずこんな感じなのかなと。

委員 自分は③番の案を（考えた）。これともう一つ、後々「ああ」という言葉は、残したいなと思った。（③番の）意味合いとしては、この長い文章を自分の中では最小限だと考えて、あてはめるといよりは、意味があまり変わらないようにしたかったなど。せっかく思って歌詞とかをつけてもらっているので。「理想」と「母校」が上にきて、「江府中」のところの下にくるといような考えさせてもらった時に、「ああ母校」といよりは、「ああわれらの江府学園」みたいなイメージで、最初の1番は思いついたというくらいの感じだが、2番が「ああ理想の江府学園」といようなイメージで、ぱっと案をもっていかせてもらった。だいたい事務局が歌われたような感じだが。そういう考え方もあるのかなと。どこまでを最小限と思うのか、ただただ「江府中」を切り替えるだけが最小限なのか、それか本当にこの歌自体をリスペクトというか敬っているのかということがあったので、そういう案を出した。委員からもあったが、最小限というところでいくとどこまで変えていいのかというところもある。考えていった方がいいと思う。そういった意味で、③番はたくさん変えているというのものもある。

副委員長 案⑦として、一つよいか。江尾小学校の校歌が「わが江尾校」だった。同じように「江府校」だったらいいかなという意見をもっていた。これも検討してみてやってほしい。「ああ江府校」。

その他いかがか。

- 委員 歌詞をあまり変えないということになると、「ああ江府中」のところだけという感じになると思うが、単純に自分は1番は③を入れて、2番は「ああ江府中」のところを「江府学園」に変えたらいいかなと。1番の「ああ江府中 われらが母校」を「われらの学び舎 江府学園」に変えて、2番の「ああ江府中」のところを「江府学園」に変えたら。けっこう変わってしまうが。同じ流れではなくて、それか逆もありかなと。「われらは学ぶ」が重なるので、2番に③を入れて、1番に「江府学園」だけ入れるとか。けっこう変わるが。
- 副委員長 思いを入れていくとなると、けっこう変わってしまうというのはある。どうか。
- 委員 ③案は、「ああ江府中 われらが母校」というところにそれを入れるということか。
- 委員 ③を入れるなら、2番の「ああ江府中 われらが理想」のところに入れて、1番は、「(江府学園)」の方にしたほうがいいかな。ただ1番と2番同じ流れにせず案③と案④を1番2番にあてはめたらどうかと。どっちがどっちということもあるが、強いて言えば、2番に③を入れて、1番に④を入れたらどうかと思う。
- 副委員長 今最小限がどのあたりかというのがあったが、このところは共通理解した方がいいと思うので、「ああ江府中」だけでいくのか、「われらが母校」まで含めて最小限として考えるのかというあたり、そこはいかがか。あとは、1番と2番で入ってくる言葉が違っていいのかどうかというあたり。
- 委員長 最小限というのは、名前のところだけだと思う。1番は「母校」で2番は「理想」になっている。やっぱり同じ言葉で、例えば「ああ江府中」のところに「江府学園」でも入るし、「ああ学園」でも入るし、「奥大山江府」でも入る。①番の「(江府)中」のところを「(江府)町」もいいが、町の歌になってしまう。感じが。(「ああ、江府中」のところだけでも)あてはまるものが多いので、この中で選んでいただいて、あとはかまわない(※「変えない」という意)と。「われらが母校」もかまわない。「われらが理想」もかまわない。という考え方の方が最小限でいいのではないか。どうか。
- 副委員長 いかがか。「ああ江府中」のところのみ、というご意見をいただいている。ここは最初にきちんと決めたほうがいいのかもしれない。
- 委員 申し訳ないが、もう一度歌ってもらってよいか。というのが、④番が気になっていて、「ああ」後に(言葉)が入るので。
- 事務局 原案とは違うかもしれない。
- ※④案を歌唱
- 委員 割と長い。短い言葉だと合わないかもしれない逆に。二文字だったら。「学

園」だったら（短くなって合わない）。

副委員長 変えるのは「ああ江府中」のみにするというので考えて、そこははっきりさせようと思う。それでよろしいか。あまり意味が我々の思いが入っていくのを避けるというほうがいいのではないかというのが前提としてあったので。「江府中」を変えていくというところで、今「江府学園」のところを今歌っていただいたが、どうか。今のはアリということか。

委員 字余りになるかと思ったが、結構そこが長くのばすところなので、これだったらまる、あてはまったのかと思った。確認させてもらった。

副委員長 「江府学園」となったとしても、歌えそうだといいことではいかかがか。案として、検討していきたいが、「ああ江府町」（案①）はどうか。今、町民歌みたいになるのではないかという意見をいただいている。韻きがあるが、1番で「江府町」と言って、2番でまた別の言葉というのがあれば町の中でというものがあるかもしれないが、あまり意味をもたさないというところでいくと、「江府町」という町民歌という感じにならないほうがいいのではないかということだが。これは外してもよろしいか。では、案②「奥大山江府」についてはいかかがか。今日全部絞るまではいかないと思うので、候補がある程度いくつかに絞れた方がいいと思うので、「奥大山江府」はいかかがか。歌っていただいた時に無理はなかったか。

委員 「奥大山江府」にすると、リズムは変わる。

副委員長 いかかがか。

委員 「奥大山江府（※リズムをとりながら歌唱）」というイメージ。でも聞いていて、個人的な気持ちだが、ここの「ああ」って大事だと思う。そこで思い出すみたいな雰囲気。すごく久しぶりに聞いたが、それを思いながら聞いた。だから「ああ」が大事ではないか。僕がはめたかったのは、学校名であってほしいと。「江府中」ではちょっとおかしい。「江府小」でもおかしいし、「町」でもまたおかしいというところで、学園名の「奥大山江府」を無理矢理入れるのであれば、「奥大山江府」というイメージで入れただけ。ただ、今思ったのは、「ああ」が意外に大事なのではないかと。

副委員長 「奥大山江府」も歌としては可能だということで、一応可能だということにしてもらっておいてよいか。選ぶのはまた別として。これは候補に挙がっていても大丈夫ということでよいか。②番は可能ということで。③番はこれは先ほどの話でなしにさせてほしい。④番「ああ江府学園」はいかかがか。「ああ」が入っているが。残す感じで、可能ということでよいか。では案④も可能。「江府学園」（案⑤）も可能でよいか。

副委員長 なるべく絞れた方がいいので可能性のないものは、なしにしていった方がいいと思うが、ご意見いただけるか。「江府学園」。

- 委員 リズムを変えてもいいなら、入れてもよい。
- 副委員長 とりあえず、はめるとしたらはまるということでよい。一応 O.K.にさせてほしい。案⑥の「ああ学園」もはまる。「(ああ) 学園」はまるのは、はまる。案⑦で「ああ江府校」ははまるということでよい。一番はまると思うが。はまると判断したのが、案②、④、⑤、⑥、⑦ということになる。時間になったので、今日は決めることができなかったが、この5つの案について、次回検討させてもらって、この委員会として、校歌の案としたいと思うが、どうか。さらに次の時にこういうのもどうかというのがあれば出してもらえばよい。
- 委員 絞っていくなら、本当に歌ってもらって、ちゃんと1番なら1番をはめて誰か歌ってもらって、録音しておいてもらおう。それは厳しいか。
- 委員 どのリズムにどの言葉をのせるかはその人その人のものだから、イメージがわかないと（歌えないのでは）。
- 委員 楽譜が必要。
- 委員 楽譜がないとリズムとかが（わからない）。
- 委員 ここにこの字を入れるというので。その方がたぶんイメージがしやすい。
- 委員 録音が大変だったら、ピアノを弾いて歌ってもらおうとかはどうか。歌う人に頼んで楽譜通り歌ってもらおうとか。慎重にしっかり決めていくということが大事なので。みんなで歌ってみたり、伴奏してもらって歌ってみたりした方が。やっぱり納得性というか、ああこのリズムいけるとか、歌いやすい歌いにくいもわかる。
- 副委員長 歌う環境については事務局とまた相談ということでよい。今日ここまでで確認したいのは、江府中学校の校歌を基に検討を進めていくということの基本的なスタンスはそれでいくということによろしいか。そして、「ああ江府中」の部分について変更を加えて、なるべく最小限の変更にするということで、今可能だろうというのが、7つあって、どれがいいかというのはこれから選んでいくが、どれになってもとりあえず歌うことは可能だろうというところは見つかった、5つの案が見つかったということで今日は確認させてもらってよい。ではそれをお願いします。

4 その他

※第8回の期日について協議

5 閉会

- 委員長 お疲れでございました。今日で校章は決まるかなと思っていたが、いろいろまた迷われたりされたのは、やっぱり子どもたちの顔が目に浮かんでできる

だけ良いものというこだわりがでてきたわけで、それは子どもに対する愛情の表現だと。こだわるというのはそういう意味だなと思って聞いていた。慎重審議していただいてありがとうございました。校歌の方も、皆さんそれぞれ特徴のあるいい文言を提出していただいたので、感謝申し上げます。絞られてきたので、次回はそれについて話し合っというふうになる。師走でお忙しい時ではあるが、どうかまたご参集いただくよう、よろしく願いしたい。今日はありがとうございました。

副委員長

では、お疲れさまでした。

○第8回委員会

- ① 日時：令和2年12月14日（月）19：30～
- ② 場所：江府町防災・情報センター 2階情報研修室